



平成 28 年度
国際交流報告書

平成 28 年度 年間行事



全キャンパス

月	日付	国	内容	ページ
7	7/4~22		夏期日本語・日本文化研修	1,2
8	8/28~9/3 2/26~3/4	 	海外企業研修（インド） 海外企業研修（タイ）	3
9	9/2		政府実施海外派遣事業	4
1	1/25~2/11		冬期日本語・日本文化研修	5,6





浜田キャンパス

月	日付	国	内容	ページ
	前期月 1 回開催 /通年月 1 回開催		Get Set Meeting / World Cafe (国際交流イベント) 開催	7,8
8	8/1~19		韓国・培材大学校サマースクール参加	9
	8/1~29		異文化理解研修（中国・北京）	10
	8/6~30		異文化理解研修（韓国・蔚山）	11
	8/8~30		異文化理解研修（アメリカ・ワシントン州）	12
	8/22~29		台湾・台中科技大学短期夏季研修参加	13
10	10/20		インド・AIMS 訪問団来学	14
11	11/12,13		留学生との「インバウンド促進プロジェクト」	15
	11/19,20		国際シンポジウム「北東アジア：胚胎期の諸相」	16,17
1	1/30		オーストラリア・グリフィス大学訪問団 来学	18
2	2/19~3/20		異文化理解研修（アメリカ・ハワイ）	19

出雲キャンパス

月	日付	国	内容	ページ
8	8/16~21		異文化研修 I (韓国)	20
	8/16~26		異文化理解研修 (アメリカ)	21

松江キャンパス

月	日付	国	内容	ページ
7	7/22,23		アジア文化交流	22
8	8/19~26	 	アジア文化演習 A (韓国、中国)	23
	8/8~8/30		海外語学研修 (アメリカ)	24

本学では、短期・長期の留学や派遣、海外からの留学生受け入れ、その留学生と本学学生との交流など、国際人としての素養を身につける幅広い取り組みを行っています。

学生交流

全キャンパス

2016 夏期日本語・日本文化研修

平成 28 年 7 月 4 日～7 月 22 日の約 3 週間、海外の協定校から 13 名の学生を受け入れ、「2016 年 夏期日本語・日本文化研修」を実施しました。

			
▲開講式	▲歓迎会	▲日本語授業	▲文化体験（着付け）
			
▲学生交流	▲茶道体験	▲小学校訪問	▲大田市視察
			
▲石見神楽授業	▲夜神楽鑑賞	▲文化体験（銭太鼓）	▲ミニスポーツ大会
			
▲市民交流	▲文化体験（紙漉き）	▲交流会	▲広島視察
			
▲出雲キャンパス交流	▲出雲市視察	▲松江キャンパス交流	▲しまね国際センター研修

【参加人数】

- ◇華僑大学 2名／安徽財経大学 2名／蔚山大学校 2名／台中科技大学 2名
- 世親大学 2名／ワナチ・バレー・カレッジ 2名／ロシア海洋国立大学 1名
- ◇学生サポーター30名

【日程】

7/2	入寮
7/3	学生交流（買い物、交流会）
7/4	開講式、学長表敬、昼食交流会、日本語授業、市内説明、歓迎会
7/5	日本語授業、日本文化体験（着付け）
7/6	日本語授業、学生交流(学内国際交流イベント)、日本文化体験(茶道)
7/7	語学授業体験、日本語授業、学生交流（うさぎのミニチュアストラップ作り）
7/8	日本語授業、小学校訪問（益田市立鎌手小学校）
7/9	大田市視察、夜神楽鑑賞
7/11	日本文化授業（石見神楽）、日本語授業、日本文化体験（銭太鼓）
7/12	日本語授業、学生交流（ミニスポーツ大会）
7/13	日本語授業、学生交流（交流会）、講義体験
7/14	市民交流（浜田市美川公民館訪問）
7/15	日本語授業、日本文化体験（紙漉き、神楽面絵付け）、交流会
7/16	広島視察（平和記念資料館観覧、お好み焼き体験）
7/19	出雲市視察、出雲キャンパス交流
7/20	松江キャンパスフィールドワーク、しまね国際センター研修
7/21	松江キャンパスフィールドワーク、しまね国際センター研修
7/22	しまね国際センター研修、懇談会、閉講式

【短期留学生からの感想】 ※短期留学生の言葉を原文に近い形で掲載しております。

- ◆この3週間、本当に楽しかったです。日本語も好きになりました。島根県へ来てよかったです！！
- ◆本当に私にとって良い時間でした。本当にさみしい・・・
- ◆これほど面白い夏休みは他にありません。先生はみんなやさしいし、親切な人でした。
- ◆帰国したくありません。もう一度来たいです！
- ◆全部楽しかったです。たくさん友達ができました。

海外企業研修

インド・タイの企業や教育機関を訪問し、それぞれの国の経済状況を肌で感じ、現地の大学生との交流を通じて、国際的視野の獲得と国際協調の精神を養いながら、自分の将来を考えるきっかけとなりました。

【インドコース】6回目

期 間 平成28年8月28日～9月3日

参 加 学生12名（浜田キャンパス12名）、引率者3名

訪問先 4企業（Toyota Kirloskar Motor、Fox Mandal、Infosys Limited、Tholasi社）
2教育機関（AIMS Institute of higher Education、Dayananda Sagar University）



【タイコース】3回目

期 間 平成29年2月26日～3月4日

参 加 学生5名（浜田キャンパス4名、松江キャンパス1名）、引率者3名

訪問先 9企業等（日本国大使館、AKEBONO PRECISION、SMET、LME、日本航空バンコク支店、カシコン銀行、CHAHO、JETRO）
3教育機関（はなまる日本語学校、タマサート大学、カセサート大学）



政府実施海外派遣事業

【内閣府青年国際交流事業】

日本と世界各国の青年との交流を通じて、広い国際視野と国際協調の精神を養い、国際化の進む社会で活躍できる青年の育成を目的とする事業です。

平成 28 年度は、松江キャンパスから「日本・中国青年親善交流事業」に 1 名、浜田キャンパスからは「日本・中国青年親善交流事業」「国際青年育成交流（リトアニア共和国）」「東南アジア青年の船事業」に各 1 名、計 4 名が日本の代表青年として選出されました。



▲国際青年育成交流
（リトアニア共和国）
＜9/9-26＞



▲東南アジア青年の
船事業
＜10/26-12/14＞



▲日本・中国青年
親善交流事業
＜事前研修＞



▲日本・中国青年
親善交流事業
＜3/7-18＞

【トビタテ！留学 JAPAN（地域人材育成コース）島根県グローバル人材育成支援事業】

島根県が抱える課題に果敢にチャレンジする次世代リーダーを募集し、県内企業でのインターンに加え、海外留学などの経験を積むことで、島根県の産業を活性化し、地域の経済発展に貢献したい情熱ある学生を支援する事業です。

平成 28 年度は、浜田キャンパスから 1 名の学生がインドを拠点に活動しました。

＜活動期間：8/31～10/29＞



【日独学生青年リーダー交流事業】

日独学生青年リーダー交流事業は、青少年団体等でリーダーとして活動する学生・青年等が、「若者の社会参画」のテーマの基に、文化体験、意見交換、機関や団体で体験活動等を行うことにより、青年リーダーとしての資質を高めるとともに、日独の相互理解と交流の発展を図る事業です。

平成 28 年度は、浜田キャンパスの学生 1 名が日本の代表青年として選出されました。

＜ドイツ派遣期間：9/13～27＞



2017 冬期日本語・日本文化研修

平成 29 年 1 月 25 日から 2 月 11 日までの約 3 週間、海外の協定校から 10 名の学生を受け入れ、「2017 年 冬期日本語・日本文化研修」を実施しました。

			
▲ミニスポーツ大会	▲開講式	▲文化体験（紙漉き）	▲浜田市視察
			
▲日本語授業	▲わかめ収穫体験	▲市民交流	▲夜神楽鑑賞
			
▲石見神楽授業	▲アクティビティ	▲茶道体験	▲学生交流（創作）
			
▲益田市視察	▲広島視察	高校訪問	▲交流会
			
▲出雲市視察	▲松江キャンパス交流	▲しまね国際センター研修	

【参加人数】

- ◇華僑大学 2 名／安徽財經大学 2 名／蕪山大学校 2 名／台中科技大学 3 名
世親大学 1 名
- ◇学生サポーター 29 名

【日程】

1/23	入寮
1/24	オリエンテーション、昼食交流会、市内説明、ミニスポーツ大会
1/25	開講式、講義体験、日本語授業、日本文化体験（紙漉き）
1/26	日本語授業、講義体験、浜田市視察（しまね海洋館アクアス）
1/27	講義体験、日本語授業、わかめ収穫体験（益田市立鎌手小学生と合同）
1/28	市民交流（浜田市美川公民館）、夜神楽鑑賞
1/30	日本語授業、学生交流（学内国際交流イベント）
1/31	日本文化授業（石見神楽）、日本語授業、アクティビティ（スケート）
2/1	日本語授業、日本文化体験（茶道）
2/2	日本語授業、講義体験、学生交流（パンのミニチュアキーホルダー作り）
2/3	日本語授業、益田市視察（柿本神社・節分祭、しまね芸術文化センターグラントワ）
2/4	広島視察（平和記念資料館観覧、お好み焼き体験）
2/5	日本語授業
2/6	日本語授業
2/7	日本語授業、高校訪問（島根県立浜田高等学校）、交流会
2/8	出雲市視察
2/9	松江キャンパス交流、しまね国際センター研修
2/10	しまね国際センター研修
2/11	しまね国際センター研修、閉講式

【短期留学生からの感想】 ※短期留学生の言葉を原文に近い形で掲載しております。

- ◆いろいろな人に出会って交流して本当に楽しかったです。たくさんの友達ことができました。日本の文化を体験して、おいしい食べ物を食べて本当にいい経験です。
- ◆今回の研修に参加して、本当によかったです。いろいろな友達ができ、そしていろいろな所に行きました。
- ◆この3週間本当にお世話になりました。感謝の気持ちをよく伝えないかもしれませんが、私は心から皆と一緒にいろいろなことをして、本当に楽しかったです。

Get Set Meeting/World Cafe（国際交流イベント）開催

浜田キャンパスでは、海外を目指す学生を応援するため、学生交流会を定期的に開催しています。海外に興味を持つ先輩や仲間、そして、留学生とのネットワークを作る機会を学生に提供しています。

【Get Set Meeting】

先輩から後輩へ。国際交流の文化を受け継ぐために経験を語り合います。

〔年間3回実施 参加者述べ59名〕



▲4/27 異文化理解研修報告会



▲6/1 海外体験報告会



▲6/29 ワーキングホリデー

【World Cafe】

国境や文化を超えて、留学生と日本の学生とのネットワークを広げています。
〔年間7回実施 参加者述べ112名〕



▲4/20 県大でできる国際交流



▲5/25 Let's play world games!



▲6/15 Let's chat chat!



▲7/6 おもてなしイベント



▲10/26 交流会



▲11/16 やさしいコトバ
～留学生による観光案内（中国編）～



▲12/7 やさしいコトバ
～留学生による観光案内（ロシア編）～

韓国・培材大学校サマースクール

毎年8月上旬から約3週間のプログラムです。世界各国の大学から約200名の学生が参加する大規模なサマースクールです。韓国語・韓国文化を学び、体験します。

平成28年は1名の学生がこのプログラムに参加しました。



▲ビビンバ

韓国のご飯と言われて「ビビンバ」を思いつく方も多いと思います。ご飯と具材をよく混ぜて食べます。真っ赤になるので辛そうですが、とても美味しいです。



▲体育大会

4つのチームに分かれて体育大会が行われました。日本では考えもつかない少し変わった競技が多く、見ても参加しても盛り上がりました。



▲修了式

修了証を持ち、撮った写真です。3週間という短い期間でしたが、楽しい思い出は数えきれません。今回の研修で出会ったすべての人達とは、今後も繋がりを続けたいと思います。

【参加学生からの感想】

研修を終え、「やりたいことは、とことんやるべき」だと感じました。研修はこれまでも参加したことがありましたが、お金も時間も費やします。しかし、もっと勉強したいというこの思いを捨てず、研修に参加したことで得られたことが多くありました。今後も積極的に韓国と関わりを持ちたいと考えています。

異文化理解研修（中国・北京）

【研 修 先】北京外国語大学

【参 加 者】16名

【研 修 期 間】平成28年8月1日（出発日）～8月29日（帰国日）

【プログラム内容】中国語授業／京劇鑑賞／現地見学（万里の長城・故宮・天壇公園、頤和園など）



【参加学生からの感想】

- ◇最初は1ヶ月間、少し長いかなと感じました。しかし、終わる頃にはとても短いと感じ、もう少し北京に居たいと考えるようになりました。また、1年間頑張って中国語を勉強しても、現地に行ったら殆ど喋れないということもわかり、俄然やるきが出ました。
- ◇中国研修を通して、日本文化との違いや今まで持っていた中国への印象が大きく変化しました。中国文化や歴史についてさらに学んでいこうと思うし、他の国の文化や歴史について学習していこうという興味を持つきっかけとなりました。

異文化理解研修（韓国・蔚山）

【研 修 先】蔚山大学校

【参 加 者】12名

【研 修 期 間】平成28年8月6日（出発日）～8月30日（帰国日）

【プログラム内容】韓国語授業／文化体験（オンギ体験、韓国料理、テコンドーなど）
／現地見学（蔚山、慶州など）



【参加学生からの感想】

◇韓国に対するイメージが変化しました。参加前は、韓国語について、ただ学習していただけでしたが、参加後には、文化や生活を通して積極的に学びたいと思いました。本当に毎日がとても楽しくて、人との出会いの素晴らしさを感じると共に多くの学びと実りある1ヶ月間でした。

◇旅行はいつでも行くことができるけれど、こういった研修は学生時代しか経験できないと思うので是非参加してみてください。最初は不安もありますが、親切な方ばかりなので、安心して生活できると思います。楽しい夏休みの半分を失うことにためらいもあると思いますが、4年間のうちのたった1ヶ月です。参加した人しか得られない体験が多くあります。悩むより、まず、参加してみてください。

異文化理解研修（アメリカ・ワシントン州）

【研 修 先】 セントラルワシントン大学

【参 加 者】 9名

【研 修 期 間】 平成 28 年 8 月 7 日（出発日）～9 月 1 日（帰国日）

【プログラム内容】 英語授業／市内見学／川下り／乗馬等の文化体験／マリナーズ戦観戦
／シアトル市内ツアー



【参加学生からの感想】

◇今回の研修は 3 週間という短期間でしたが、私にとってとても濃い時間となりました。多民族国家であるアメリカでの数え切れない出会いを通し、様々な文化や歴史、宗教に触れることができました。今まで日本で暮らし、常識だと思っていたことが世界では必ずしもそうではないということを実感しました。この経験を通して、一つの常識にとらわれず相手の価値観を尊重し、受け入れることの大切さを学びました。そして、以前よりも物事を広い視野で見ることができるようになりました。その一方で、自分の語学力のなさを痛感しました。何年間も英語を勉強してきましたが、実際に英語圏に行き英語で会話しようとするとうまく会話ができません、何度も悔しい思いをしました。この経験を糧にして、日本でも外国の方と積極的に関わりを持ち、語学力の向上を目指していきたいです。

台湾・台中科技大学夏季短期研修

平成 28 年度からスタートした新規プログラムです。台中科技大学応用日本語学科の学生と交流しながら、中国語授業、台湾の企業訪問、観光などをします。

平成 28 年は8月 22 日から 29 日の約 1 週間、浜田キャンパスから 5 名の学生が参加しました。



▲中国語の授業と発表のあと

台中科技大学での交流初日に撮った写真です。中国語の授業はどんなものかと心配していましたが、楽しく学べました。



▲夜市での買い物

日本では食べられないような珍しい食べ物が売られていました。また、食べ物の他にも服や日用品なども色々売られています。



▲九份を巡る

九份は『千と千尋の神隠し』の舞台にもなったとても有名な所です。歴史的な建物や施設があり、台湾特有の文化を味わうことができます。



▲iicake 雲林ケーキタオルコーヒー館訪問

iicake は台湾のタオル産業を促進するために地元業者が共同で運営しています。動物やケーキの形をしたタオルを販売しており、私たちは猫の形をしたタオルを作る体験をしました。

【参加学生からの感想】

◇中国語の授業、市内散策、観光地巡りなど、この期間はとても濃かったです。台湾と日本は似ているところも多いですが、大きな違いは夜市があることです。日本のお祭りの屋台のような雰囲気、これを毎日やっているのは凄いなと思いました。私は今回の研修で台湾が好きになりました。日本人がもっとたくさん台湾に行って、日台友好を深めていくことが経済的にも政治的にも重要だと思います。

◇台湾は行く前からとても印象がよかったです。実際に台湾に行って、台湾の人たちはみな優しいし、食文化も面白いところがたくさんあることを自身で感じる事ができ、もっと台湾のことが好きになりました。私は日本語を勉強する台湾の学生たちを見て、秋学期から始まる外国語の学習意欲がより一層湧いたと感じています。

インド・AIMS 訪問団 来学

平成 28 年 10 月 20 日に交流協定校のインド・AIMS (Acharya Institute of Management and Sciences) から 4 人の教職員が来訪されました。

今回の来学を機に AIMS との連携がより一層深まることが期待されます。



留学生との「インバウンド促進プロジェクト」

島根県立大学と益田市匹見町の官民でつくる「ひきみ田舎体験推進協議会」が協業し、日本を訪れる外国人観光客を呼び込むための環境整備を図ることを目的に取り組みました。

平成 28 年 11 月 12、13 日に合宿を行いました。合宿では島根県立大学内で公募して集まった日本人学生（9 人）と中国・台湾・韓国からの留学生（7 人）、合計 16 人が 3 つのチームをつくり、匹見町内の主要施設を取材、写真撮影、編集をおこないました。最終的に、町内 3 施設のチラシと、各施設に付随する説明を加えた合計 6 枚の英語版チラシを作成しました。



▲取材を通して匹見町の魅力を探る



▲地元の方から説明を受ける



▲日本人学生と留学生が力を合わせて企画を練る



▲企画案を地元の方にプレゼンテーションをする

国際シンポジウム「北東アジア：胚胎期の諸相」開催

平成28年11月19日（土）～20日（日）の2日間、島根県立大学・交流センターにおいて、人間文化研究機構「北東アジア地域研究推進事業」島根県立大学 NEAR センター拠点プロジェクト「近代的空間の形成とその影響」第一回国際シンポジウム2016「北東アジア：胚胎期の諸相」を開催しました。

島根県立大学北東アジア地域研究センター（NEAR センター）は、2016年度より本格始動した人間文化研究機構「北東アジア地域研究推進事業」の拠点大学の一つとして選定され、「北東アジアにおける近代的空間の形成とその影響」を研究テーマとして今後6年間にわたって研究を推進していくことになりました。

今回の第1回国際シンポジウムでは、世界史において「北東アジア地域」が地域としてのまとまりを形成し始める原初に立ち戻り、北東アジア胚胎期の諸相を明らかにする研究成果の報告やディスカッション等が活発に行われ、多彩な内容となりました。

【プログラム】

11月19日（土）

- | | |
|--------------|---|
| 9:20 - 9:30 | 本田雄一 学長 挨拶 |
| 9:30 - 9:35 | 小長谷有紀 人間文化研究機構理事 挨拶 |
| 9:35 - 9:40 | 趣旨説明 |
| 9:45 - 12:45 | 第一セッション「認識：自己認識あるいは歴史」
飯山 知保（早稲田大学 招聘研究員）
井上 治（島根県立大学 教授）
井上 厚史（島根県立大学 教授）
中村 喜和（一橋大学 名誉教授）
司会：李 曉東（島根県立大学 教授）
討論：岡 洋樹（東北大学 教授） |
| 14:00-17:00 | 第二セッション「統治理念」
栗生澤 猛夫（北海道大学 名誉教授）
茂木 敏夫（東京女子大学 教授）
岡 洋樹（東北大学 教授）
都 賢喆（韓国 延世大学 教授）
司会：石田 徹（島根県立大学准教授）
討論：李 曉東（島根県立大学 教授） |

11月20日(日)

9:15-11:45 第三セッション「交流」

韓 東育 (中国 東北師範大学 教授)

柳澤 明 (早稲田大学 教授)

司会：劉 建輝 (国際日本文化研究センター 教授)

討論：波平 恒男 (琉球大学 教授)

天野 尚樹 (山形大学 准教授)

井上 治 (島根県立大学 教授)

13:00-15:00 総合討論

岡 洋樹 (東北大学 教授)

娜 荷芽 (中国 内モンゴル大学 講師)

バーリシェフ エドワルド (筑波大学 助教)



▲オープニングの様子



▲セッションの様子



▲セッションでの討論の様子



▲総合討論の様子

オーストラリア・グリフィス大学訪問団 来学

平成 29 年 1 月 30 日に、オーストラリア・グリフィス大学の学生 20 名と引率者 1 名が浜田キャンパスに来学し、学長表敬や学生交流を行いました。



▲学長表敬



▲ランチ交流



▲学内国際交流イベント（OMOTENASHI）

異文化理解研修（アメリカ・ハワイ）

【研 修 先】ハワイ大学

【参 加 者】14名

【研 修 期 間】平成29年2月19日（出発日）～3月20日（帰国日）

【プログラム内容】英語授業／文化体験／現地見学（Polynesian Cultural Center, Bishop Museum, Hawaii Plantation Village, Diamond Head hike, Pearl Harbor など）



異文化研修 I (韓国)

出雲キャンパスでは平成 25 年度より韓国での異文化研修を実施しています。4 回目となる今年度は、1 年生 10 名が平成 28 年 8 月 16 日から 8 月 21 日まで、韓国大邱広域市にある啓明大学校と大邱韓医大学校での研修に参加しました。



【啓明大学校での研修】

啓明大学校では施設見学と交流会をしました。シミュレーション教育が実施出来る設備が整っており、看護実践能力に対する教育の質の高さを感じられました。また、夏休み期間中に自主的な演習に励んでいる 4 年生の姿をみて、学生は学習意欲を刺激されていました。



【大邱韓医大学校での研修】

看護学生との交流会をしました。学生は、それぞれの大学のプレゼンや歌や踊りのあと、韓国語、日本語、英語、身振り、様々なコミュニケーション手段を駆使して、お互いの学生生活について話しました。学生同士の交流は、机上の学びでは得られない貴重な経験になり、現在も SNS 等を活用して交流は続いています。



【韓国文化体験】

韓国文化の体験の一つには、食生活に関することがありました。食事は、焼き肉や冷麺、参鶏湯などの韓国料理のみならず、韓国で若者に人気の洋食もいただきました。食習慣や礼儀作法などを体験する事で日本との違いを感じました。

その他にも、韓国の伝統文化の体験や歴史的な価値のある地へ行くことで韓国の人々の価値観を学びました。

【参加学生の感想】

- ◇海外へ行く事で、初めて違う文化を肌で感じる事ができました。文化の違いは、自分の考え方にも影響を与え、将来についても深く考えるきっかけになりました。
- ◇他国の学生と話すことによって、自分と同じような悩みを抱えていることを知りました。また、仲間との連携の大切さなど、今後の自分にとって役立つ大切なものを手に入れることができたと感じました。
- ◇韓国研修を通して、言葉や文化が違ってもコミュニケーションがとれること、仲間と連携や確認が大切なことを学びました。

～異文化理解研修(韓国)報告書より抜粋～

異文化理解研修（アメリカ）

平成8年からスタートしたアメリカワシントン州にあるウェナチー・バレー大学とシアトル大学での異文化理解研修に、今年度は14名の2年次学生が参加しました。平成28年8月16日から8月26日の約10日間、アメリカの医療と文化、多様な価値観に触れ、興奮と感動の日々の中で、見て・聞いて・感じて、体験を通して学びました。



Skits の練習風景



ホームステイ

【語学研修・文化体験】

ESL クラスでは Wenatchee Valley College のジョアン先生とカラ先生から実践的な英語を学びました。ファーマーズマーケットで、店員さんに様々な質問を試みたり、アートの町を散策し、気に入った作品を英語で紹介しました。また、医療をテーマにした英語の寸劇 (skits) を行い、感謝のタペで、ホストファミリーに披露して、楽しんで頂きました。最後の英語のスピーチでは、感動して涙を流す学生もありました。

2泊3日でのホームステイは、一番の思い出です。ホストファミリーの思いやりと優しさに触れて、伝わらない言葉もたくさんあったけど、家族のようにうち解けました。「ありがとう」を何度言っても足りないぐらいです。

【医療機関、福祉施設見学】

Wenatchee では Wenatchee valley hospital や Nursing home、Ballard Ambulance など、米国の医療と福祉の現場を見学しました。OP ナース、緩和ケア専門看護師、栄養士などそれぞれが、自分の考えを明確に指し示して下さいました。Seattle では、Children's hospital を見学し、アメリカと日本の医療の違い、寄付で成り立つ医療の実際に驚きました。



病院見学

【看護教育】

Wenatchee Valley College の学生さんは、自分の将来の看護師像をしっかり持って学習していました。実習室の新生児から高齢者までのシミュレーションモデルを用いて私たちに丁寧に指導して下さいました。Seattle University では、Clinical Performance Lab を見学し、「Do and I understand」の言葉は忘れません。



学生さんとの交流

アジア文化交流

7月19日（火）～21日（木）に浜田キャンパスで日本語を学ぶプログラムに参加している留学生13名が松江を訪問し、本学学生19名と交流しました。

19日（火）は平田のサンレイクに宿泊、20日（水）は松江市内ツアーを行い、松江伝統のお茶や和菓子、伝統工芸品づくりなどの文化に触れ、縁結び&パワースポットなどの松江観光を一緒に行いました。



▲チーム城（八雲庵）



▲チームお茶（千茶荘）



▲チーム縁結び（八重垣神社）



▲チーム文化体験（カラコロ工房）



▲チーム和菓子（彩雲堂）

アジア文化演習A（韓国、中国）

8月19日（金）～26日（金）の1週間、中国（5日間）と韓国（2日間）を訪問しました。北京では、世界遺産の見学や市場や下町へ、あるいは民家での料理体験などを通じて、現地の人々と交流を図りました。出発前に事前学習を数回実施し、帰国後は、異文化体験をテーマにレポートをまとめ、それに基づいた口頭発表をしました。

アジア文化演習Aは平成28年度が最後のプログラムとなりました。15名の学生（2年生8名、1年生7名）が参加し、異文化に触れ合いました。



▲北京大学前



▲天安門広場



▲胡同めぐり



▲北京動物園



▲八達嶺長城



海外語学研修（アメリカ）

松江キャンパスでは、ワシントン州立セントラル・ワシントン大学（CWU）と協力協定を 1990 年 6 月に締結し、交流を進めています。平成 27 年度には交流 25 周年を記念し、記念誌の作成と交流協定の内容に関する覚書を締結しました。

海外語学研修（サマープログラム）は、夏休みを利用して CWU に滞在し、語学研修や企業訪問、文化体験等を行います。平成 28 年度は、8 月 8 日から 8 月 30 日の約 3 週間実施され、36 名の学生（松江 27 名、浜田 9 名）が参加しました。



▲CWU にて



▲授業風景



▲マリナーズ観戦



▲マウントレーニア登山



▲ヤキマ川下り



▲乗馬体験



▲プレゼン発表



▲企業訪問



▲お別れ夕食会

【参加学生の感想（報告書からの抜粋）】

- ◇たくさんの新しい出会い、現地での授業、課外活動、生活、全てが新鮮だった。
- ◇様々な体験と交流を通して、考え方一つで自分を変えることができると思うようになった。
- ◇もっと英語を学びたい、絶対今の将来の夢を叶えたいという気持ちが強まった。
- ◇研修で得た、伝えようとする姿勢を忘れずに、自分の力でしっかりと伝えられるように英語力を鍛えていきたい。

島根県立大学・島根県立大学短期大学部

平成 28 年度 国際交流報告書

平成 29 年 3 月発行

編集・発行

島根県立大学 国際交流センター

〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2
TEL:0855-25-9063 FAX:0855-23-7352
E-MAIL : kokusai@admin.u-shimane.ac.jp
